

3月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん 80号

2025年6月10日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



新議員決まる

大山新名所 お経滝

新議員が決まる!

～町民の福祉向上のためにがんばります～

令和7年4月13日の一般選挙で選出された議員を紹介します。

(任期 令和7年4月24日～令和11年4月23日)

新たな議員の構成は、21ページに掲載しています。

※議員名、期数、年齢、行政区、所属



米本 隆記

よねもと たかよし

5期 67歳 上坪東 無所属



杉谷 洋一

すぎたに よういち

5期 77歳 平 無所属



野口 俊明

のぐち としあき

10期 76歳 赤坂 無所属



近藤 大介

こんどう だいすけ

6期 58歳 上谷前 無所属



大森 正治

おおもり しょうじ

5期 76歳 坊領 日本共産党



池田 幸恵

いけだ ゆきえ

3期 52歳 退休寺 無所属



副議長

大原 広巳

おおはら ひろみ

4期 68歳 所子 無所属



島田 一恵

しまだ かずえ

2期 69歳 みどり区 無所属

副議長に再び選出していただき、責任の重さを痛感しています。先の4年間は、コロナ禍で、町政のさまざまな課題解決に余分な時間が取られた気がします。今後の4年間は、少子高齢化対策や産業の育成・教育福祉の向上・防災対策など、町民の皆さんが明るく楽しく暮らせる町づくりに努力するつもりです。

また、議会も町執行部と更なる連携を取り、より有意義な議論を深め、本町の発展に寄与していかねばなりません。議長と共に開かれた議会を推進していく覚悟です。皆さまのご指導を賜りますよう、よろしくお願いします。



浅田 龍太郎

あさだ りゅうたろう

1期 33歳 栄 無所属



近藤 隆博

こんどう たかひろ

1期 42歳 ニューヴィータ 無所属



西本 憲人

にしもと のりと

2期 44歳 内蔵 無所属



加藤 紀之

かとう のりゆき

3期 49歳 御来屋3区 無所属



豊 哲也

ゆたか てつや

2期 47歳 蔵岡 参政党



京力 久子

きょうりき ひさこ

1期 56歳 梶原 公明党



小林 直哉

こばやし なおや

1期 40歳 岡 無所属

このたび、議長に選出していただき、責任の重さに身の引き締まる思いです。

さて、今日の地域社会は激動する経済社会情勢の中にあり、議会としても日々変革が求められ、的確に対処していくことが重要であると考えます。そのためには、行財政運営の監視とともに、住民の悩みや声を汲み取りながら、住民福祉向上に資する政策提案も行っていく議会でありたいと思っています。

皆さまのご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

まちの話題 **「ええがな大山」** 「小学校～それは小さな社会～」7月12日10時/14時の2回なかやま温泉で上映。教育大国フィンランドでは4カ月のロングランヒットを記録するなど、海外からも注目を集めた映画。

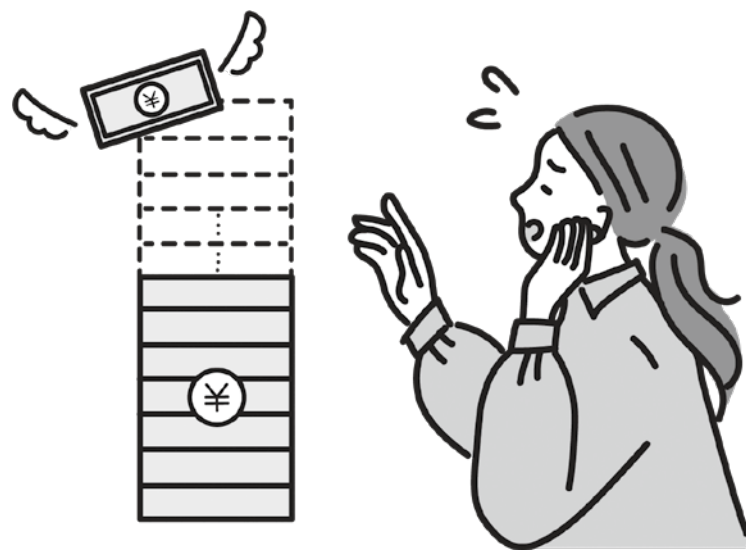
まちの話題 **「まちの話題を募集します」** 新しいお店やおすすめスポットの紹介、地域のイベント情報など、皆さんからの情報提供をお待ちしております。(大山町御来屋328 E-mail gikai@town.daisen.lg.jp)

改選期骨格予算 110.8億円 可決

財政調整基金 約4.5億円の取り崩し

政策的予算を含まない最小限の予算編成であるが、当初の歳入見込みでは不足、財政調整基金が約4.5億円取り崩される予定となっている。

4月以降に政策的予算が議案にあがってくるが、財政調整基金も含めた基金がさらに取り崩される見込みとなっている。



人事院勧告による 人件費の大幅アップ

基金取り崩しの大きな要因の一つが、国が定める人事院勧告により、大山町役場職員の給与もアップし約2億円の増額である。

また近年の光熱費・物価高騰も見込んだ予算編成となっているため予算増額の大きな要因となっている。



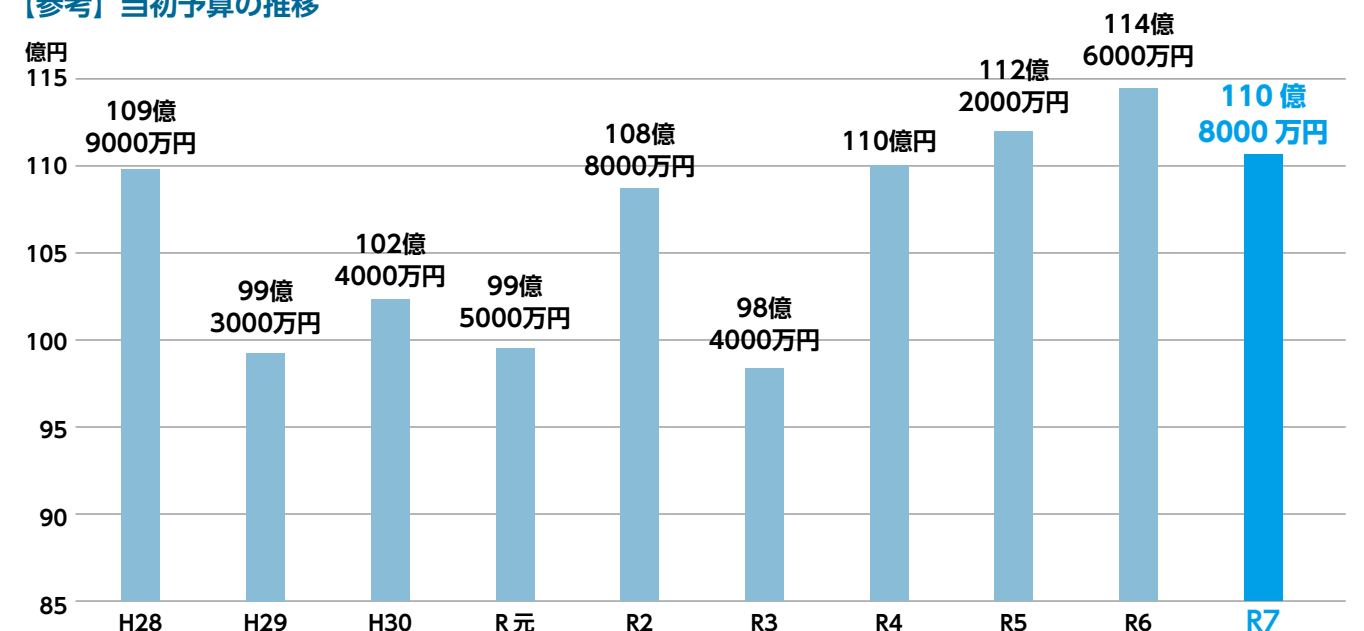
用語解説 **「財政調整基金」** 自治体における年度間の財政の不均衡を調整するための積立金。財源に余裕がある年度に積み立てを行い大規模災害の発生や大幅な税収減などがある年度に取り崩しを行う。

令和7年度予算案

3月定例会では、新年度予算案が執行部から提案され、議員全員で構成される予算審査特別委員会で審議し、その可否が決まります。

令和7年度予算は骨格予算となり、110億8000万円の内容で提案され、可決しました。

【参考】当初予算の推移



骨格予算とは

町長選挙が行われる年の予算は、政策的（町長の方針）な予算を含まない最小限な予算が組み立てられます。それを骨格予算といい、政策的予算は改選後の4月以降に組み立てられることとなります。ですので、骨格予算は例年よりも少ない金額になります。

4年前の骨格予算に比べると12億4,000万円増額となっています。

まちの話題 **「らぁ麺 池島」** 地元食材を生かした無添加・無化調のラーメン店。2022年8月、大山町富長にオープンし、日本庭園を眺めながら食事が楽しめる落ち着いた雰囲気*特徴。(問い合わせ先 050-8884-9898)

4月以降に審議される政策的予算

短期英語留学プログラム事業

840万円

8人の中学生が15日間短期的にハワイにて、集中的に英語学習を行う事業。

5月1日の臨時議会にて、予算化され全会一致で可決した。



海の観光拠点整備事業 予算未定

御来屋漁港近辺にて、海の観光資源利活用のために拠点を整備する事業。検討委員会では基本計画が審議され約4.7億円規模の事業が提案された。

お魚センターのリニューアルと公民館設立を視野に入れ、計画が再度練られている。

6月定例会にて議案提出予定と説明を受けた。

アウトドアライフ事業 (ノースフェイス誘致)

約3億円

大山寺に土地を取得し、建物の建設費用約3億円が今後予算化される予定。

家賃収入として月額35万円を設定し、50年間で建築費を回収する。



学校給食費全額補助(子育て支援事業) 3560万円

小中学校給食費の全額補助する。(骨格予算にて半期分が可決され残り半期分10月から3月)

予算審査特別委員会審議

議員全員が委員となり、分科会を2つの常任委員会ごとに作り、それぞれで審議し、予算を可決しました。

付帯意見として、財政の厳しさを指摘しました。

付帯意見

人事院勧告における人件費の増加、物価高騰などから骨格予算において約4.5億円の財政調整基金の取り崩しとなっている。大変厳しい内容となっており、将来、町が進める事業の効率的な運営と具体的な解決策を検討されたい。

まちの話題 **「害虫駆除ふくだサービス」** 白蟻防除施工士の資格を持つ代表が、シロアリ、ハチ、トコジラミなどの害虫駆除を丁寧に対応。シロアリは、枯れた木しか食べないそうです。(お問い合わせ 0859-54-6620)

令和7年度 主な事業(骨格予算)

学校給食費全額補助 (子育て支援事業)

3560万円

小中学校給食費の全額補助する
(政策的経費のため半期分4月から9月)

ガバメントクラウド利用料 (電子計算費)

4707万円

全国統一して基幹システムを
クラウドを用いた行政システムに移管する

デマンドバス事業

6799万円

町内であれば片道100円で利用できる



こども家庭センター (利用支援事業)

813万円

令和7年4月から開始している
保育士とこども家庭支援員が
相談業務を一体的に行う

史跡大山寺旧境内整備事業

6904万円

金剛院修理工事・石垣補修工事など



就学時に係る経費助成 (子育て支援事業)

3916万円

高等学校通学定期乗車券等購入補助金・
修学旅行費助成金・教材等購入助成金

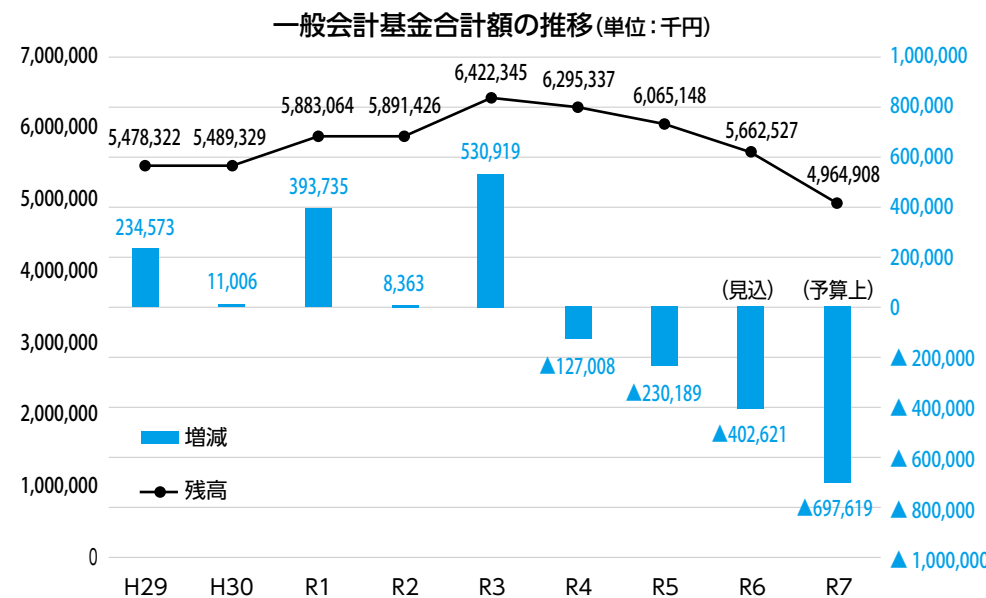
まちの話題 **「國吉農園」** 大山町荘田にある自然栽培にも取り組んでいる農園。農薬・化学肥料不使用のものも含み年間40種・120品目以上を栽培。これらの野菜は、定期便として全国へ発送。(問い合わせ先 080-4482-1082)

特別委員会

予算審査

令和7年度予算

財務課 将来的に基金不足におちいらないのか？



町民の声

骨格予算で約4.5億円
取り崩しては今後使
えるお金がなくなる。潤
沢に資金があればいい
が優先順位を考えなけ
ればいけない。



小原邦彦さん(佐摩)

委員会での聞き取り内容

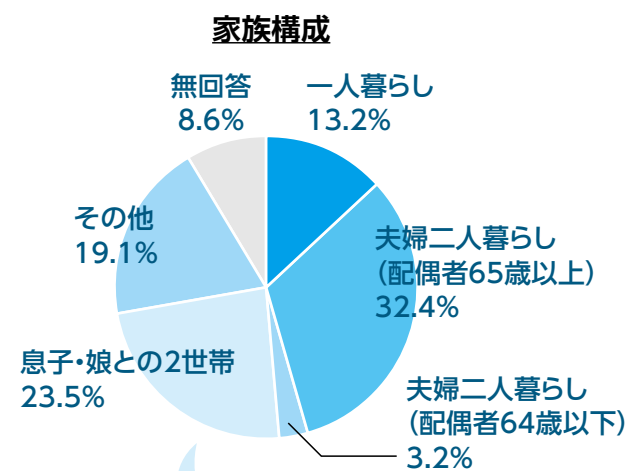
令和5年度決算から実質単年度収支はマイナスになっており、基金の取り崩し額は増加している。令和7年度決算見込みでは基金の取り崩しが約7億円となっており、事業の見直しを視野に入れるべきだ。

長寿支援課 高齢者施策の現状

お年寄りの声にはどう対応する？

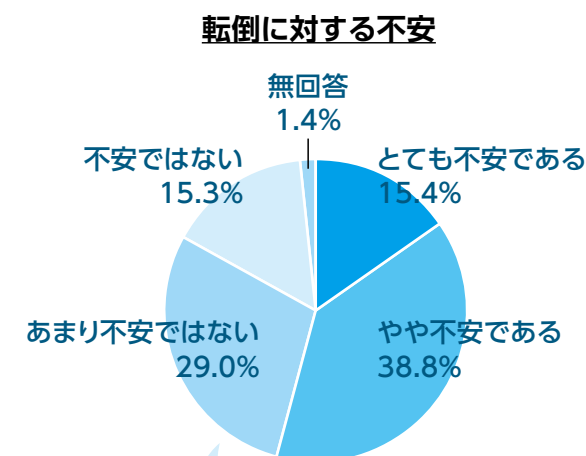
高齢者ニーズ調査の報告を受けました。(対象:65歳以上の人
配布数5225件・回答3457件)

ご家族や生活状況について



- ・現時点では介護・介助は必要ないとの回答が83.9%
- ・経済状況が苦しい人は3分の1以上

からだを動かすことについて

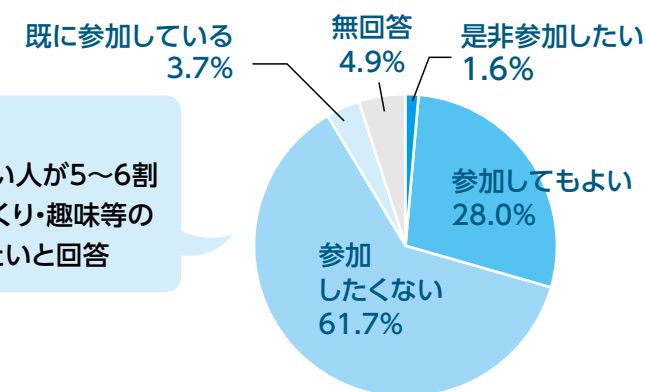


- ・過半数が不安と回答
- ・外出頻度は減っている人が31.4%
- ・新型コロナの影響も考えられる

地域での活動

- ・参加意向がある人は29.6%
- ・地域の活動に参加していない人が5~6割
- ・地域住民有志による健康づくり・趣味等の活動には5割以上が参加したいと回答

お世話係としての参加意向



委員会での意見

主に老人クラブの事務処理(会計など)については、活動自体は参加したいけど役や事務をやる負担から活動継続が困難な実態や実例がある。
高齢者がいきいき元気に活動し続けるためには、事務処理補助などの方策が必要と意見をした。

大山トリビア

【ハマナス自生南限地帯】 大山町の花であるハマナスはバラ科の植物で、5月中旬から6月にかけて花を咲かせる。松河原海岸のハマナスは「ハマナス自生南限地帯」として国の天然記念物に指定されている。

まちづくり課

風車の解体費用

赤字?プラスマイナスゼロ?

どんな内容?

1基ある町営の風力発電は老朽化により売電収入も見込みにくく、修繕費がかかるため、解体する方向で進んでいる。

説明では限度額が9800万円とあり見積額が多くなり過ぎていることへの懸念があった。

債務負担額
9800万円

説明内容

解体事業者の見積もりから町が積算した額である。杭基礎が再利用される予定なので予定よりも安く、正式に積算すれば±ゼロに近づいていくと想定される。



まちづくり課

子ども体験活動支援事業

公民館でのキッズ英語は廃止?

どんな内容?

小学生低学年を対象とした英語の講座、公民館企画での実施は限界で継続困難であると判断し、予算計上をしないため減額となった。

大山公民館で行っている「キッズ英語」は廃止、今後は、中山・名和でも廃止予定である。



トピックス 【いさい踊り】 中山地区各所で踊られる盆踊り。小泉八雲が旅の途中に見学し、その様子が著書「知られぬ日本の面影」に記されている。令和7年8月17日にいさい踊り盆踊り大会が中山公民館で開催される。

一目でわかる審議結果

1月臨時会
3月定例会

○賛否の分かれた議案など

○は賛成、×は反対あるいは保留

議員名	西本 憲人	豊 哲也	島田 一恵	池田 幸恵	門脇 輝明	大原 広巳	大杖 正彦	大森 正治	杉谷 洋一	近藤 大介	吉原 美智恵	岡田 聡	野口 俊明	結果
議案など														
議案														
議案第1号 令和6年度大山町一般会計補正予算(第10号) 大山西小学校駐車場用地の取得及び整備について GIGAスクール端末更新事業の債務負担行為の設定について 带状疱疹ワクチンの定期接種について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)
議案第32号 令和6年度大山町一般会計補正予算(第11号) 合併振興基金の取り崩し予算	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決 (賛成10名)
議案第19号 令和7年度大山町一般会計予算 令和7年度の骨格予算について	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	可決 (賛成9名)
議案第44号 公の施設の指定管理者の指定について(大山中の原スキー場) 令和7年4月1日からの指定管理者について、現在の指定管理者である株式会社だいせんリゾートに1年間の指定管理について仮協定者を締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (全会一致)
陳情・請願														
請願第1号 旧姓の通称使用の法制化を求める請願書 東伯郡琴浦町 旧姓の通称使用を求める会鳥取 河合 鎮徳	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択 (賛成1名)
陳情第1号 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 鳥取市末広温泉町 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	不採択 (賛成3名)

○全会一致で可決・同意・採択した議案など ※議案などの採決は、議長を除く13人で行います。

1月臨時会・・・令和6年度補正予算(2件)
3月定例会・・・工事請負変更契約の締結(2件)、令和6年度補正予算(9件)、令和7年度一般会計予算(12件)、条例改正(12件)、条例廃止(1件)、計画変更(1件)、整備計画策定(2件)、任命・選任(2件)、諮問(2件)、発議案(3件)



大山トリビア 「わらべ歌紹介」 大山町の国信集落には「勝って逃げるは 殿さんの頭(かしら) 負けて逃げるは 大根の尻尾(しーぼ)」軽い言い争いなどをして、相手を言い負かしたときなどにうたう凱旋歌がある。

チェックします 3月定例会 議案の質疑

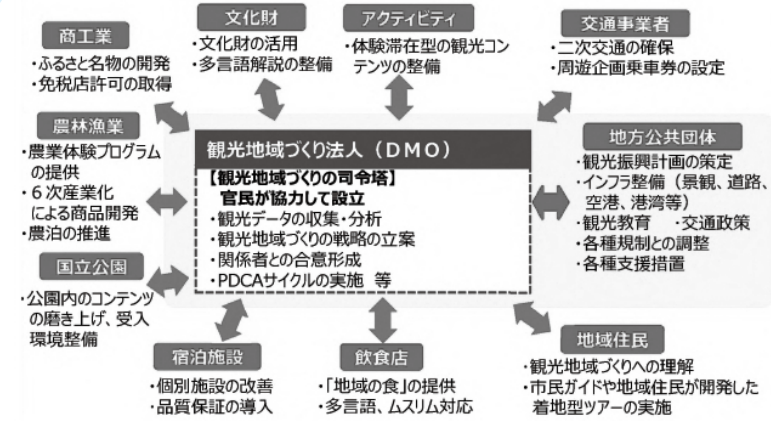
補正予算

利用が廃止された施設の解体と、避難所の備品購入など

【Q】合併振興基金を財源として用いることによって、財政調整基金の投入額が減額になっているが、むしろこう言った事業にこそ財政調整基金を充当すべきではないのか。
【A】ほかに充てる起債や基金があれば、そちらを優先している。どうしても充てるものがないということであれば財政調整基金からの繰り入れと考える。
【Q】PR大使の予算が執行されないまま全額減額になっている。
【A】日程調整が整わず、年度内に行えなくなった。

観光行政

【Q】地域活性化起業人制度を活用する意義とDMOとの関連は。
【A】今後DMOを中心として観光戦略の見直しが必要と考える。この制度を活用し向かうべき観光振興の在り方の基本計画や観光ビジョンの策定について進めたい。



基金の取り崩し

骨格予算で初となる財政調整基金の取り崩しについて質疑

【Q】財政調整基金から約4.5億円の取り崩しを見込んでいるが取り崩しの理由は。
【A】積極的な財政運営をしているためである。
【Q】約4.5億円はどこから試算して出てきた数字なのか。
【A】どの目的にというものでなく全体の調整のためである。
【Q】平成29年・令和3年の骨格予算と比べると10億円の大増額だが、主な要因は。
【A】決算の数字で議論した方が、何が増えたかわかりやすいと考える。
【Q】改選期の必要最低限の予算が、なぜ財政調整基金を取り崩さなければならぬのか。骨格予算で初めての基金の取り崩しに不安がある。
【A】危機的状況ではない。財政状況は健全である。

【Q】ふるさと応援基金を財源としている事業が令和8年度以降きちんと継続されるのか。ふるさと納税という不安定な財源ではなく、恒久的な財源から割り当てていくべき費用ではないのか。
【A】令和7年度のふるさと納税で十分に確保できる自信がある。令和8年度に行うふるさと応援基金の活用をした事業の財源は確保できている。
【Q】必要最低限の費用だけ計上した骨格予算が、約4.5億円も不足している時点で、大丈夫かと懸念する。また、一般財源の総額3%圧縮することを目標に予算編成に挑んだにもかかわらず、結果としてはむしろ増えていることは、基金の新たな取り崩しになり基金の枯渇が懸念される。
【A】物価高騰の中、予算を削減するのは非常にむずかしい。今の基金の推移でいけば債券運用部分に手を付けなくても十分基金のやり繰りというのは回ると認識している。

用語解説 「地域活性化起業人制度」 三大都市圏に所在する企業と地方自治体が協定書にもとづき社員を地方自治体に一定期間(6カ月～3年)派遣し、地域課題に対し専門的な知見を生かしながら業務に従事すること。

公の施設の指定管理

中の原スキー場の管理について通常は5年契約であったものを1年契約に変更し、指定管理者の指定を行うもの



賛成 豊議員「計画的な公募を」

非常に消極的な賛成である。計画性を持って公募しないとスキー場の運営は本当にむずかしい内容である。無計画な事業にならないようお願いしたい。



賛成 大杖議員「管理を継続する道を選択」

現管理者が継続しての管理は、大山スキー場存続に向けた現実かつ合理的な決定であったと評価する。本町の観光振興に貢献し未来を守ることにつながると期待する。

議員名	小谷	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

旧姓の通称使用の法律化を求める請願



賛成 豊議員「戸籍制度の崩壊につながる」

選択的夫婦別姓は夫婦別姓になり、戸籍制度の崩壊につながる。現在の制度をそのまま保持し、両方の名前が使える制度は必要である。



反対 大森議員「世界で日本だけ」

日本だけが夫婦同姓制度を持つ国である。旧姓の通称使用の法制化は選択的夫婦別姓への議論への道を閉ざしかねない。同姓も別姓もどちらでも選択できる選択的夫婦別姓制度を実現することが最善の方法と考える。

議員名	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める陳情



賛成 大森議員「最低賃金改正は必要だ」

都市と地方で大きな差がある最低賃金が上がらない状況が続いている中で何もしなかったら賃金の上昇しない日本になってしまう。最低賃金を改正することは必要だ。また、大企業の内部留保の1.2%を使って中小企業の支援をすることでプラスの循環が生まれる。



賛成 西本議員「調査不足である」

全会一致の理由が説明できないくらいの調査しかできていない。調査不足と受け止めた。日本全体で抱えている賃金の問題は、国の方向性をしっかり地方から指摘していきたい。

議員名	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×

大山トリビア **「仁王堂公園の大山カラス天狗」** 神通力と空を飛ぶ能力を備えることから、自然を愛しながら未来に羽ばたくシンボルとして平成9年5月に完成した。身長は8.88mで、体重は約10tである。

白熱討論

議会最終日に、
各議員が白熱した
討論を繰り広げました。

令和7年度 一般会計当初予算



反対 近藤議員「財源不足」

本町の財政状況は非常に厳しい状況であるにもかかわらず、町長が「財政は健全だ」と強く主張するのは町民が町政の実態を正しく知る機会を奪うことである。町民に対して誠実さが足りない。



賛成 大杖議員「財政は健全」

当初予算の総額は、令和6年度当初予算に比べマイナス3%である。債券運用も問題なく町の財政は健全そのものである。



反対 豊議員「具体的な解決策を」

約4.5億円もの財政調整基金の取り崩しとなっており、大変厳しい状況である。具体的な解決策も示されず、数年後の財政が厳しくなる。



賛成 門脇議員「現時点では賛成」

予算増の要因は会計年度任用職員制度の改正による人件費やIT化対応の経費、物価の上昇によるもの。今後の財政運営の見直しに当たっては、町民の理解を得ながら実施してほしい。



反対 西本議員「骨格予算で基金取り崩しが過去最高」

先の財政を100%予測できる人はいないが、今なら方向性を定め直す時期としては良いと思う。計画性がないことと、役場内合意形成がとれていないことに対し反対だ。



反対 大森議員「特別な施策の見直しを」

近年の人権意識の高まりを考えるならば、同和地区に限った特別な施策を見直し一般施策に移行した方が、同和問題の完全解決の早道と考える。



賛成 岡田議員「同和対策の予算は必要」

差別事象が後を絶たない。部落差別が存在する限り同和対策や人権啓発の予算は必要と考える。今後の財政運営においては、最大限の努力と持続可能な再生運営に努めることを願う。

議員名	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○

令和6年度 一般会計補正予算



反対 近藤議員「基金の使い方が適切でない」

合併振興基金から5300万円取り崩される予算となっている。この基金は本来合併にともなう地域の振興および住民の一体感醸成のために使われるものである。基金の使い道として適切ではないと考える。

議員名	西本	豊	島田	池田	門脇	大原	大杖	大森	杉谷	近藤	吉原	岡田	野口
賛否	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○

大山トリビア **「もう一つの御腰掛けの岩」** 御来屋の「後醍醐天皇の御腰掛けの岩」は有名ですが、旧光徳保育所の隣にひっそりともう一つの御腰掛けの岩「武甕槌命(たけみかづちのみこと)の御腰掛けの岩」があります。

13人が町長・教育長に
一般質問を行いました。

一般質問

◆一般質問とは

議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。



お持ちのスマホやタブレットから、QRコードを読み込むと、各議員の質問をYouTube動画でご視聴いただけます。
議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます。

ページ	質問事項	質問議員
13	1. ふるさと納税のさらなる活用を 2. トイレの洋式数の増を	池田 幸恵
14	1. 大山町の水は安全か 2. 基金の運用は適切か 3. 大山町の将来像は	門脇 輝明
	1. 行財政改革は進んだか	近藤 大介
15	1. 児童生徒の心身の健康教育は	杉谷 洋一
	1. ふるさと納税の返礼品に挑戦する町内事業者への支援について 2. 町内の公共施設に杖ホルダーと荷物置き場設置について	島田 一恵
16	1. 人口減少対策の成果は出たのか 2. 職員の職場環境改善について	西本 憲人
	1. 持続可能な大山町とは	吉原美智恵
17	1. 国保税の均等割子ども部分に支援を	大森 正治
	1. 大山町が担う 地方創生について	大杖 正彦
18	1. 資金不足におちいつているのではないか 2. 大山スキー場の運営について無計画なのではないか	豊 哲也
	1. これからの大山町にどう生かすか 2. 一人暮らしの高齢者への重点的な施策を	岡田 聡
19	1. 防災対策について	大原 広巳
	1. ホームページのその後は	野口 俊明

大山町の水は安全か

町長 水質基準を遵守し 安全確保に努める



【門脇】大切な水道水のPFAS（有機フッ素化合物）汚染に関する水質検査を実施し、令和6年1月9日付の結果報告では飯戸公民館で採水された水道水に、PFASが11（ng/L）検出されているが認識は。

【町長】国の暫定目標値の約1/5だが、検出されたことを重く受け止めている。

【門脇】PFASが検出された給水集落は。

【町長】明間・あけまの森・種原・飯戸・前の5集落だ。

【門脇】原因調査は。

【町長】特定は困難なうえ、国の暫定目標値の約1/5であり、現時点で調査は行っていない。水質検査は年1回程度行う予定だ。

【門脇】そのほか安全確保の取り組みは。

【町長】基準検査項目の検査計画を実施して、水質基準を遵守し水道水の安全確保に努める。

このほか、最新の財政推計をもとにした「基金の運用は適切か」との質問に持続可能な財政運営に努めると答え、町長の描く「大山町の将来像は」の質問には、町長は各項目について詳細に答弁を行った。

【町長】特定は困難なうえ、国の暫定目標値の約1/5であり、現時点で調査は行っていない。水質検査は年1回程度行う予定だ。

【門脇】そのほか安全確保の取り組みは。

【町長】基準検査項目の検査計画を実施して、水質基準を遵守し水道水の安全確保に努める。



町民に安全な水の供給を

ふるさと納税

町長 導入に向けて 検討を進める



【池田】本町を観光などで訪れた人が、その場で使用や体験ができるふるさと納税自動販売機を導入しないか。

【町長】検討している。

【池田】設置予定地は。

【町長】来訪者が一定数ある場所を想定している。

【池田】いつから導入予定なのか。

【町長】設置予定場所の事業者との話し合いによって決める。

【池田】返礼品の数は。

【町長】約20種類で、季節によって返礼品の入れ替えも可能である。

【池田】ふるさと納税者に本町のPRを。

【町長】一律に対応はむずかしい。

【池田】できるところからでよい。情報発信は、ふるさと納税のリープターを町のサポーターにつなげる手段の一つと考えるがどうか。

【町長】関係人口の増加につなげていきたい。

このほか、各種イベントや研修、リカレント教育の会場にもなっている中山温泉生活想像館の洋式トイレ数の増について質問した。

町長からは、今後検討していきたいとの返答を得た。



設置の周知も重要である

財政運営は大丈夫か

町長 予算査定や 事業見直しで対応する



【近藤】令和6年、財務課が作成した大山町財政推計によれば、令和10年度には、基金が20億円以上目減りする見通しとなっている。

今後の財政運営は大丈夫か。

【町長】人件費や、物価高騰、建物の老朽化にともなう維持補修費など、今後、経常的な経費の増加が見込まれているが、予算査定や事業見直しなどを通じて、住民ニーズを的確に捉えた取捨選択を行い、財政調整基金の適切な規模を維持しながら、持続可能な財政運営ができるように努める。

【近藤】今の財政状況について、町長は健全だと考えているか。

【町長】財政健全度合いを示す、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率この4つの指標から見て、健全である。

【近藤】骨格予算なのに財政調整基金を4億4500万円も投入で大丈夫か。

【町長】国の税収の伸びが大きいので、交付税の追加配分があると考



基金の急減も心配されている

子どもの国保税 均等割に助成を

町長

税負担の公平性 からできない

おおもりしやうじ
大森正治 議員

【大森】国保税の負担は重い。その要因の一つが、子どもを含む家族全員に賦課される均等割の仕組みにある。

町長の認識は。

【町長】均等割は公平性の確保のため必要な要素である。

【大森】子どもにかかる均等割の部分を、子育て支援の観点からも助成できないか。

【町長】税負担の公平性のため、国の基準通りに賦課する。

【大森】公平性とは。

【町長】国保以外の保険加入者は二重の負担になる点である。

【大森】国保だけにある

均等割や平等割の賦課をやめて、ほかの健康保険のように所得割だけにするのが公平性ではないか。

【町長】国の制度であり、自治体の裁量ではできない。

国には制度の拡充を要望していく。

【大森】全国には、子どもの均等割を減免している自治体もあるが。

【町長】国保以外の人に二重の負担を強いるのでむずかしい。

国保税の負担軽減のために、今後もしっかり国に要望していく。

令和6年度 大山町 国民健康保険の 税率・税額				
区分	所得割 (%) (世帯の所得に応じて負担)	均等割 (円) (世帯の人数に応じて負担)	平等割 (円) (世帯ごとに負担)	限度額(円) (課税の上限額)
医療給付費分	6.79	25,300	22,800	650,000
子どもは合計 34,200 円				
後期高齢者 医療費 支援金分	2.38	8,900	8,000	240,000
介護納付金分	2.07	10,600	6,500	170,000
負担額の大きい子どもの均等割				

資金不足に おちいつてるのでは



町長

資金不足ではない

つちや
哲也 議員

【豊】財政が危機的だととらえている。資金不足におちいつているのではないか。

【町長】実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率が国が定める基準内であるため健全だ。

【豊】その4指標がよくない時には、倒れて救急車に運ばれているような状況だ。経常収支比率や基金の減少などを黄色信号としてとらえ改善すべきでは。

【町長】4指標がよければ問題ない。

【豊】現在のことはなく、10年後には悪くなっているのでは。



中長期計画が望まれるスキー場

【町長】政策的予算を削れば問題ない。

【豊】本質的な答弁をしてほしい。具体的にはどの事業か。経常的な事業が多く削れないのでは。

【町長】積極的に使っている部分を戻せば基金の目減りも減らせる。

このほか、大山スキー場の中長期展望に関して質問した。指定管理の公募は手上げがなくマイナスのイメージがついてしまったこと、事業者とのコミュニケーションが取れていないことを指摘した。

大山町からの 地方創生は

町長

地域産業の 発展に取り組む

おおつえまさひこ
大枝正彦 議員

【大枝】将来夢のある本町に向け「楽しさ自給率の高いまち」実現に

町長は県政そして国会へ積極的に陳情すること求められる。

県選出の石破総理大臣、赤澤経済再生担当大臣、舞立農林水産委員など、国会の要職にいる現状はいい機会ではないか。

【町長】あらゆる場面において地域内と新たな人材で産業を発展させる施策、観光面では国立公園立地自治体協議会の会長として観光振興に取り組む。

【大枝】人口減少対策を単町だけで取り組むの

は至難であり、近隣自治体そして県との提携なども重要である。そして財政的な視点での根拠が必要だが。

【町長】人口減少対策に効果が期待できる施策を実現するには、見合う予算が必要だ。

【大枝】スタートアップ

を模索する起業家支援と企業誘致の具体的な考えは。

【町長】技術の進歩やグローバル化で未開拓分野でのイノベーションが地方創生を誘発する可能性はある。成果を求め支援したい。



楽しさ自給率の高いまちへ

これからの町に どう生かす



町長

人口減少施策に生かす

おかだ
聡 議員

【岡田】町長の政策の中で、主な成果と課題は。

【町長】子どもから高齢者まで誰もが住みやすいまちのための施策を進めてきた。教育、子育ての経済的負担の軽減策や、さまざまな高齢者施策によって、人口減少も緩やかになっている。

【岡田】基金と町債のどちらに比重を置いて財政を考えているか。

【町長】この8年間で30億円町債を減らした町の経済を回していくという観点から、それぞれのポリシームを考えていく。

【岡田】業務の効率化や



町民の幸せのために

このほか、独居老人を取り残さないための市民後見人制度の充実について質問をした。

【町長】本町では、養成講座を修了した5人のうち2人が活動しているという答弁であった。

災害時の

トイレ対応は

町長
仮設トイレや
テントを増強する

おおはらひろみ
大原広巳 議員

【大原】感震ブレーカー
助成事業を集落でも受
けられないか。

【町長】県と協議する。

【大原】集落内の予備電
源強化も助成しないか。

【町長】ほかの目的にも
利用できるので、直接
の助成はむずかしい。

【大原】上下水道のイン
フラが被害を受けた時
に、一番困るトイレ対
応は。

【町長】避難所の仮設ト
イレに加え、それを囲
うテントも補充する。

【大原】個人の準備とし
て、簡易トイレキット
の普及も推進しては。

【町長】国の方針も踏ま
え、検討していく。

【大原】防災士資格取得
状況は。また、連絡協
議会の立ち上げは。

【町長】2年前より21
人増加して令和6年3
月時点で57人となつて
いる。3分の2以上が、
消防団や役場職員なの
で、さらに一般の人に
も普及したい。

今後、協議会の設立
も検討していく。

【大原】淀江に跡地活用
の件は後退していない
か。今後の見通しは。

【町長】検討委員会を出
た声もりこまれるよ
うに国・県に提言して
いきたい。



1日5回2日分は必要

ホームページの

改善は

町長
指摘受け改善している

のぐちとしあき
野口俊明 議員

【野口】令和6年6月定
例会の一般質問で、町
のホームページは情報
が探しにくいと指摘し
たが、改善の進捗よく
状況はどうなっている
か。

【町長】指摘を受け、古
い記事の削除などを
行った。また、専門家
に改善方法を相談し助
言を得ている。

課題解決のためには、
ホームページのリユー
アルが必要と考えてお
り、令和7年度の予算
化を検討していく。

【野口】数字が変わるも
のについての考え方は。

【町長】例えば本町の
住民人口などの情報は

できる限り早く更新す
るよう心がけている。
変化をするものに関し
ては古い情報は削除し
て、なるべく最新の情
報が出るように心がけ
ている。

【野口】町民の声をどう
拾うか。

【町長】引き続き、ホー



HPリニューアルも検討されている

議会の構成決まる

5月1日の臨時議会で、議長、副議長、議会運営委員会、常任委員会の構成が
決まりました。

議長／吉原 美智恵

副議長／大原 広巳

議長、副議長の任期は4年間、議会運営委員会、並びに常任委員会の任期は2年間です。

議会運営委員会

委員長／近藤 大介
副委員長／池田 幸恵
委員／西本 憲人
大森 正治
豊 哲也

- 議会の円滑な運営をはかる委員会です。
- 任期は2年間で各常任委員長を含む5人で構成
されます。

総務経済

委員長／西本 憲人
副委員長／近藤 隆博
委員／小林 直哉、島田 一恵
池田 幸恵、大原 広巳
米本 隆記、近藤 大介

所管課
会計課、財務課、商工観光課、
地籍調査課、総合戦略課、
建設課、農林水産課、
農業委員会、総務課、税務課

教育民生

委員長／大森 正治
副委員長／京力 久子
委員／浅田 龍太郎、豊 哲也
加藤 紀之、杉谷 洋一
野口 俊明、吉原 美智恵

所管課
幼児・学校教育課、こども課
水道課、住民課、長寿支援課
総合福祉課、社会教育課
まちづくり課、健康推進課

広報

委員長／豊 哲也
副委員長／浅田 龍太郎
委員／小林 直哉、近藤 隆博
京力 久子、西本 憲人
加藤 紀之、池田 幸恵

議会だよりの作成を中心とし
て、議会活動の発信や広報・
広聴活動を行います。

※大山町議会委員会条例の一部改正により、令和5年4月30日からこれまでの『総務常任委員会』『経済建設常任委員会』
「教育民生常任委員会」の3常任委員会を、「総務経済常任委員会」と「教育民生常任委員会」の2常任委員会に再編となりました。

議会選出監査委員……………野口 俊明

鳥取県西部広域行政管理組合議会議員……………吉原 美智恵

鳥取県後期高齢者医療広域連合議会議員……………吉原 美智恵

大山 トリビア
【伯耆の白兔】 中山神社には白兔神(シロウサギノカミ)がまつられており「因幡の白兔」と共に古事記伝で語
られている。兔が流れ木に助けられた川を「木の枝の川」→「甲川(きのえがわ)」と呼ぶようになった。

全国コンクールで 第4位を獲得

議会だより第77号が第39回町村議会広報全国コンクールで優秀賞(第4位)を受賞しました。同号は、第32回鳥取県町村議会広報コンクールでは最優秀賞に輝いています。



自治功労者表彰

町村議会議員在職15年表彰

在職15年の功を労い、全国町村議長会により3人の議員が表彰されました。



米本隆記議員



杉谷洋一議員



大森正治議員

語る会を開催します

改選で遅れてしまいましたが、7月下旬から8月上旬にかけて「議員と語る会」を開催します。このたびは大山、名和、中山の各地区での開催となります。お気軽にお出掛けください。

「議会だよりだいせん」の感想をお寄せください

Webアンケート

右記のQRコードを読み取っていただくと、アンケート入力フォームにアクセスできます。(所要時間3分程度)



Faxやメールでも受け付けています。
良かった(分かりやすかった)記事、悪かった(分かりにくかった)記事など、議会だよりの感想をお聞かせ下さい。
議会や町政へのご意見・ご要望などもお気軽にお寄せ下さい。

Fax 0859-54-5214 ✉ gikai@town.daisen.lg.jp

請願

陳情

あなたの声 行政を変える!

このコーナーでは、町民が請願や陳情を通じて議会へ要望を届ける手順を紹介します。

請願(せいがん) …… 町議会議員の紹介のもと、要望や意見を挙げること

陳情(ちんじょう) …… 紹介者を立てず、要望や意見を挙げること

請願書・陳情書のながれ

請願・陳情の内容を決定!

行政や住民の生活に関する要望や意見であれば提出可能

例

学童保育の定員拡大、公園の整備や遊具の更新、地域イベントへの補助や支援、私道を町道に編入したいなど

提出期限: 定例会の前々日(土日・休日のときはその翌日)の正午まで

提出先: 大山町議会議長あてに「大山町役場の議会事務局」へ提出

提出後、委員会に付託(ふたく)され、調査・審査が行われます。
委員会の調査結果をもとに、本議会にて採決がはかられます。

採決の結果、行政へ措置の要請や参考意見として取り扱われます。

町の暮らしで感じた不安や疑問、ご意見をぜひお寄せください。
皆さんの声が議会に届き、より良い大山町づくりにつながります。

請願・陳情の出し方

陳情の取り扱い基準や提出方法の詳細については、大山町議会ホームページをご確認ください。[\(https://www.daisen.jp/gikai/5/2/\)](https://www.daisen.jp/gikai/5/2/)

まずは、お近くの議員や議会事務局にご相談ください。

TEL 0859-54-5213



地域の素材で

加工品づくり

食品工房だいせん

加工食品を作りたい町民、町内事業者などで立ち上げた団体です。

町による逢坂農産物処理加工所（旧逢坂保育所内）の運営が法改正などが理由で急遽終了し、これに対して多くの町民から加工所の必要性を訴える声が上がりました。そして令和5年度より町から加工所を借りて団体の運営する形で活動がスタートしました。

○活動内容

団地で各種食品製造許可を取得しています。

会員は加工所で店頭販売可能な加工食品の製造、イベント販売用の食品の仕込みなどを行っています。自ら栽培した野菜や規格外の果物などを活用した食品が作られています。

食品づくりに必要な知識を得るための研修の開催、食品表示作成のサポートなども行っています。

取得製造許可



飲食店営業

菓子製造業

食用油脂製造業

そうざい製造業

密封包装食品製造業

漬物製造業



○現状と今後の展望

現在、16名の会員で加工所を利活用しています。今後より多くの人に仲間になってもらい、町内の地域資源を活用した食品づくりにチャレンジできる場を盛り上げていきたいです。

そして作ったものを町内のイベントや道の駅で販売することで、地域の魅力アップにつながればと思います。



お問い合わせ

食品工房だいせん 大山町住吉920番地
Eメール koubou.daisen@gmail.com

入会申し込みはQRコードまたは
左記お問い合わせ先へEメールにて
お願いします。



あとがき

町民アンケートでは、「広報だいせん」は読むけれど、「議会だより」はあまり読まない」という声が寄せられました。

町民にとって必要な情報は、たしかに町の広報誌に載っています。しかし、議会広報が読まれるためには、「議会の視点」が欠かせません。単なる「何をしました」という報告では、住民の関心は引きにくいのです。むしろ、意見が分かれた議案や否決された内容など、議会内での議論の過程を正直に、隠さずに伝えることが大切です。

当たり障りのない内容ばかりの広報誌を作り続けるなら、議会そのものの存在意義が問われてしまいます。議会の役割や姿勢をきちんと伝える広報をめざすべきだと考えています。（西本）

発行責任者

議長 吉原美智恵

広報常任委員会

委員長 豊 哲也

副委員長 浅田龍太郎

委員 池田 幸恵

委員 加藤 紀之

委員 西本 憲人

委員 京力 久子

委員 近藤 隆博

委員 小林 直哉